



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに
すまい造りメール

第234号 2021年9月号

SINCE 2002.4.1.



発行日令和3年8月20日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

Enjoy HOME 「平和中央公園」

横須賀市の中央地区に小高い丘（深田台）があります。ここはかつて「砲台山」と呼ばれ、明治24年頃、東京湾防衛のため、「米ヶ濱（よねがはま）砲台」が築かれた場所です。

猿島や海堡と共に我が国の防衛の拠点として、太平洋戦争終結まで秘密のベールに包まれていました。日露戦争では、旅順攻略に手を焼いていた日本軍の強力な助っ人として、すでに砲台山に設置されていた28センチ榴弾砲6門を取り外して現地に送り、旅順港内の敵艦隊を壊滅させました。

その後、1970年に中央公園として開園し、現在まで市民に親しまれています。



2021年、「中央公園」から「平和中央公園」に名称変更され、平和のモニュメントも新しくなり、また、周辺の階段やスロープが整備され、公園のどこからでも東京湾を見渡せるようになりました。（参考資料「横須賀市HP・砲台山」）



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next100
創刊 2002.4.1.

お客様のご紹介により、令和1年6月から外装工事や玄関ドアの交換工事を担当させていただいているお住まいを紹介させていただきます。

今回は駐車場の再整備とその後に行った木の伐採と除草です。駐車場のご契約者様の車種もだんだんと大型化し、それに対応できるように、アスファルトやコンクリートの一部を補修しながら、駐車場全体を再整備しました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

駐車場と庭の木の伐採と下草の処理を行った。



反射板の付いた車止めを設置した。



1台分のスペースを広く確保した。→

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

ぶんがくかん
よこすか文学館

<69>

難病による闘病生活の中、珠玉の作品を作り続けた横須賀出身の俳人折笠美秋（おりかさ・びしゅう 1934-1990）の作品を紹介します。

第九回
山月鳴呼あ
妻子まず思ふべきや
詩思うべきや

折笠美秋

句集『君なら蝶に』のなかで、「わが山月記」という題でまとめられた8句のひとつです。「山月記」は中島敦（1909～1942）の短編小説で、唐の時代、詩人として名を残そうとして挫折し虎に化した李徴（りちょう）の話です。虎になった李徴の科白（せりふ）「飢え凍えようとする妻子のことよりも、己（おのれ）の乏しい詩業の方を気にしているような男だから、こんな獣に身を墮（おと）すのだ。」を句にしたものですが、美秋自身の心とも交錯しているようです。



〔洗足学園中学高等学校
教諭 中島正二〕

横須賀製鉄所物語（顕彰碑の建立）〈79〉

小栗上野介は非業の死を遂げ、徳川幕臣として明治新政府軍に最後まで抵抗した逆臣とされてきました。そうした小栗上野介の名誉が回復されたのは、大正4年9月に実施された横須賀海軍工廠創立50周年の記念式典の時でした。当時の内閣総理大臣の大隈重信が海軍省参政官に代読させた祝辞において、「小栗上野介の尽力によりフランスが日本政府のために製鉄所創設を援助することを決定した。従って海軍工廠の創立は小栗上野介があつてこそ」と言及し、この時やっと小栗上野介の名誉が回復され、賊軍の代表とされていた汚名を晴らすことができました。



※
小栗の知行地で、しかも明治新政府軍によって斬首された倉淵村（現在の高崎市倉淵町）では、小栗上野介の遺徳を偲び、非業の最後を悼む村人たちは、寄付を集めて顕彰慰霊碑建立の計画を進めました。マイケル・ワート著（野口良平訳）『明治維新の敗者たち～小栗上野介をめぐる記憶と歴史～』によれば、「1931年倉田（くらた）村、烏淵（うぶち）村の支配層のりびとが小栗の記念碑をつくる組織を結成、記念碑に刻む文言を蜷川に依頼した」と記されています。



当時こうした碑の建立にあたっては、内務省の許可が必要で、受付窓口は警察署でした。村人たちは碑の文言については、小栗上野介の義理の甥に当たり、駒澤大学、同志社大学で教鞭を執ったことのある、国際法、外交史の権威の蜷川新に依頼しました。



蜷川は、第一案として「幕末の偉人小栗上野介終焉の地」、第二案として「偉人小栗上野介罪なくして此所に斬らるる」の碑文を書き記し、村人たちに示します。村人たちは第二案の「偉人小栗上野介罪なくして此所に斬らるる」を採用し、内務省宛の届け出をすると、受付担当の警察署から「碑文に罪なくして斬られるとあるが、斬ったのは官軍だ。官軍は天皇様の軍隊だ。天皇の軍隊が罪のない者を斬るはずがない。なんとかしろ」との難題を突きつけられます。しかし、この難題にも蜷川が対応し、現在の河原に建立された碑が残されることになりました。

※1955年群馬郡倉田村と烏淵村が合併し倉淵村となる。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

10月9日(土) 14:00開演 **松永知史**リサイタル
ソプラノ
ヨコスカ・バイサイド・ポケット
ピアノ 朴令鈴 全席自由3,500円/学生2,500円

よこすか近代遺産ミュージアム 9:00～17:00 年中無休
ティボディエ邸 詳細につきましては施設にお問い合わせください。 ☎046(822)9478

来夢来人③ ～ソプラノ歌手・松永知史～

「LimeLight」とは、電球が普及する前に使われていた舞台照明のひとつです。現在では、「名声」「脚光を浴びる」などといった意味で用いられています。大きな夢を持ち、輝き続ける未来人を紹介させていただきます。

「みんなで楽しむコンサート」が8月9日に横須賀市文化会館で開催されました。その中心となって活動している松永知史さんは、ソプラノ歌手として主にドイツで活動中に、一時的な帰国で、縁あって武山養護学校でお手伝いをしていたところ、施設や学校を訪問し歌を披露する機会がありました。ある日、保護者の方から「声や音を発して迷惑をかけないか心配でコンサートホールには行かれない」という声を耳にしたことをきっかけに、「垣根なく来てもらえる場を作ることも私の役割」という想いを抱くようになり、みんなのやさしい、あたたかな気持ちに包まれたコンサートを実行委員会とともにスタートさせました。「来年もコロナや台風になげないで開催してね」というお客さんの言葉が印象的でした。（参考資料「タウンニュース横須賀版」「神奈川新聞」）



松永知史（まつなが・ちかみ） 横須賀出身。神奈川県立追浜高等学校卒業。桐朋学園大学音楽学部卒業。沖縄県立芸術大学大学院修了。沖縄県人材育成財団海外奨学生として渡独し、ミュンヘン市立リヒャルト・シュトラウス音楽院大学院修了。ヨーロッパを中心に、オペラ、オラトリオ、ミサなどのソリストを務め、バイエルン国立歌劇場室内楽団やブダペスト・ヨハン・シュトラウスオーケストラなどと共演。日本国内では日生劇場の「後宮からの逃走」「二期会サマーコンサート」が放映された他、「歌のちかみ先生」としてEテレ教育番組に出演するなど、子供たちへの音楽活動にも力を入れている。ボイスコーチとして、大河ドラマやその他番組に関わる。今秋CD発売予定。東京二期会所属。

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2021」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2021」より）ダウンロードすることができますので、是非ご利用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索